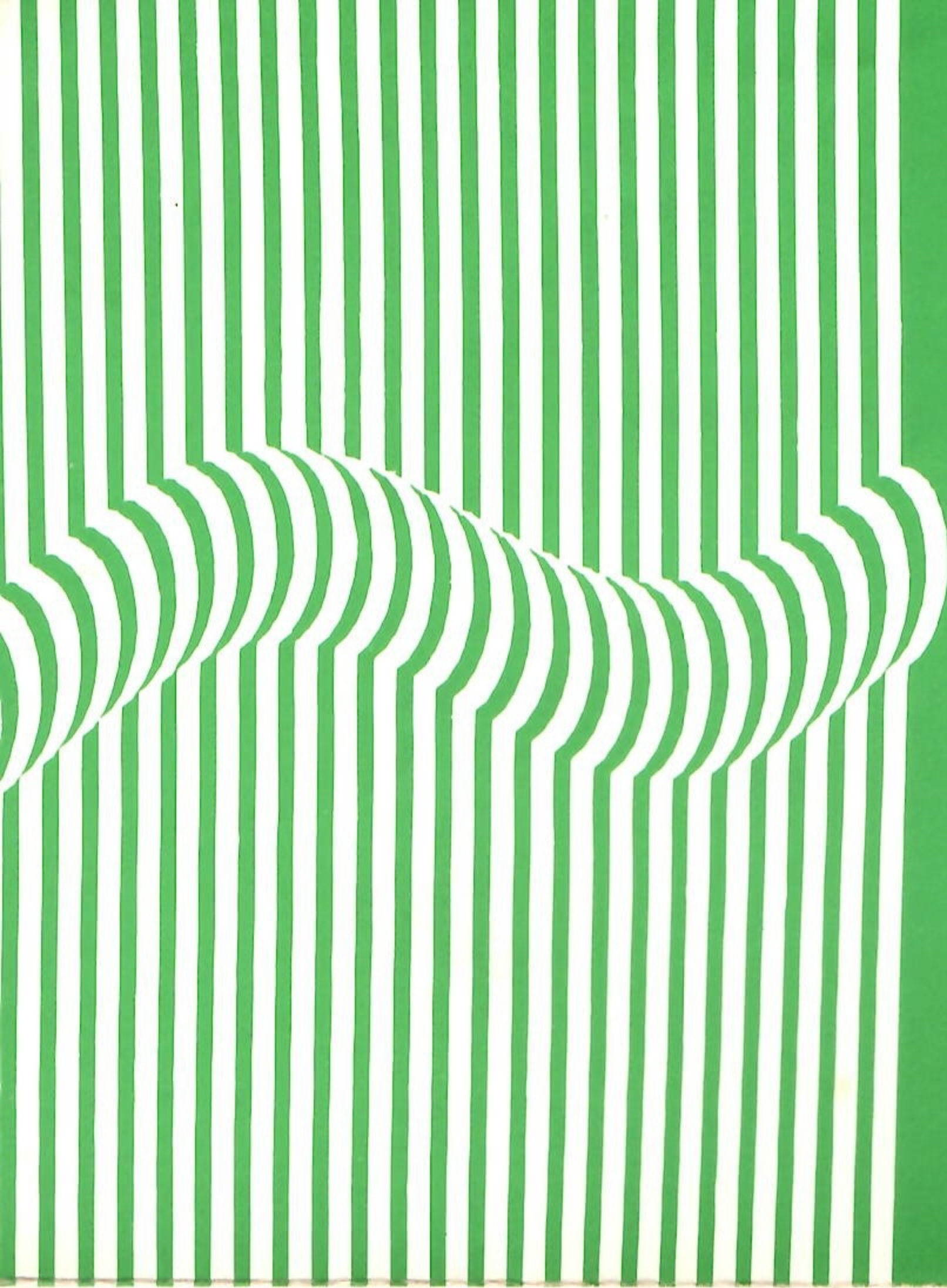


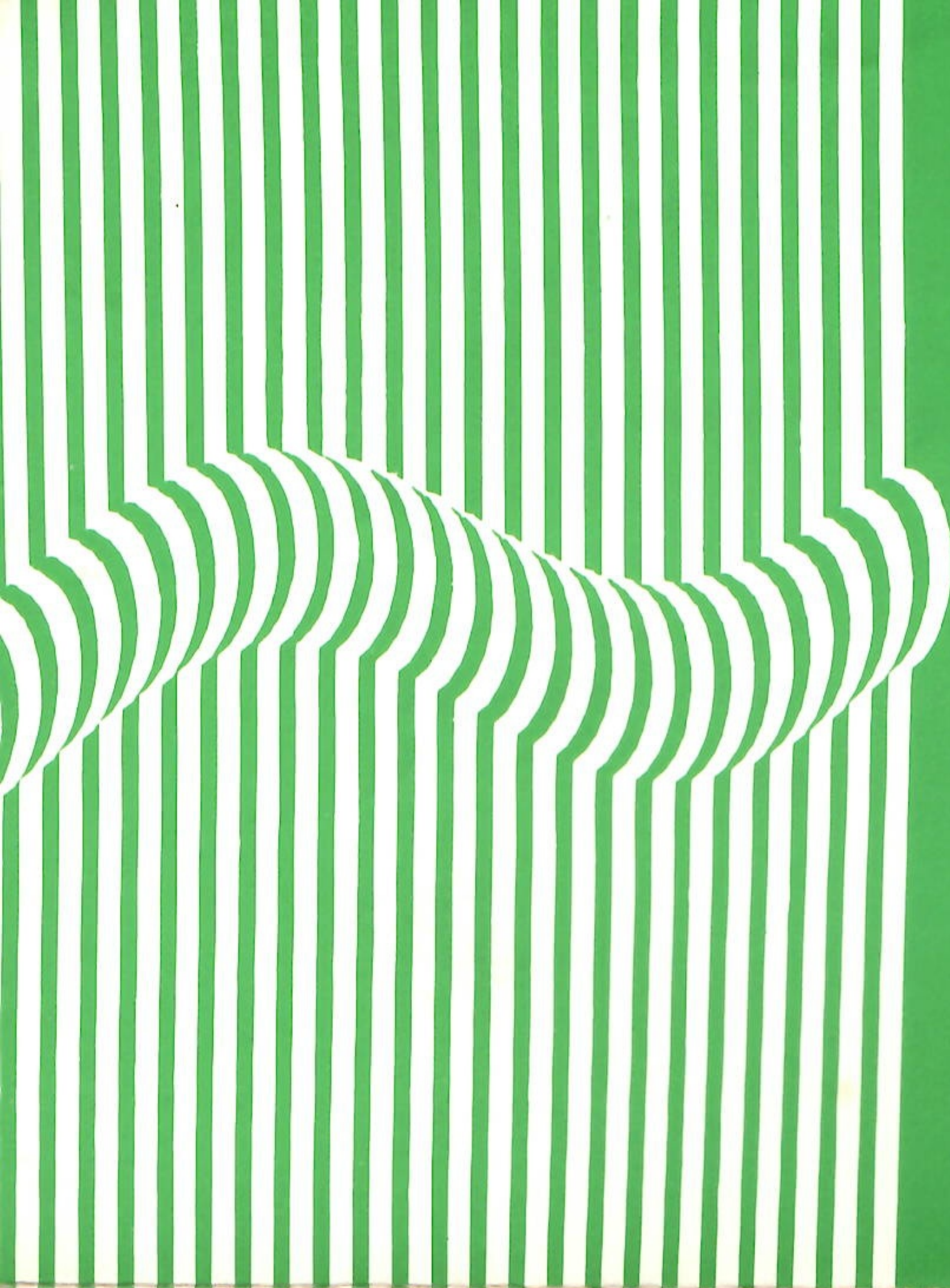


'77 国際コンピュータ・アート展

INTERNATIONAL COMPUTER ARTS EXHIBITION '77

昭和52年度 情報化週間

MEDIAメディアラマ
RAMA



'77 国際コンピュータ・アート展

INTERNATIONAL COMPUTER ARTS EXHIBITION '77

昭和52年度 情報化週間

MEDIAメディア
RAMAラマ

●主催

(財) 日本情報処理開発協会

●企画／制作

(株) コンピュータ・エージ社

●後援

通商産業省 郵政省

●協賛

ソニー企業

●テーマ メディアラマ

●出展内容

視覚的・聴覚的作品

グラフィック

映像

音楽・音響

造形

システム作品

視覚・聴覚・制御・混合メディア

プログラムによる参加

研究作品

アイデア作品

●期間／場所

10月1日(土) — 10日(月)

AM11:00 — PM7:00

銀座ソニービル・8階

●入場料

大人 200円

学生・小人 100円

●国際コンピュータ・アート展事務局／東京都千代田区霞ヶ関3-2-5(霞ヶ関ビル30階) (株)コンピュータ・エージ社内tel(03)581-5206

'77国際コンピュータ・アート展

INTERNATIONAL COMPUTER ARTS EXHIBITION '77

MEDIA メディアラマ RAMA

メディアラマ

芸術を含む人間の表現メディアの新しいパノラマというような意味

芸術の領域に、コンピュータを含むさまざまなメディアが関係をもってからすでに10年以上の時がたっています。

今年の展覧会は、コンピュータを利用した諸ジャンルの作品と、コンピュータを使わなくても、数学や科学やテクノロジーに関係をもつ作品も展示いたします。例えば機械装置による動く彫刻、ビデオによる映像作品、数学的なパターンによる幾何学的な絵画などがあります。

そしてまた会場では作品を展示するだけでなく、いくつかの装置やメディアを観客が実際に操作できるように用意をして、観客も展覧会に参加できるような場にしたいと考えています。

〈メディアラマ〉展は、人間とメディアが、芸術活動を通してお互いに友だちになれる場をつくるのが目的です。